

平成29年7月31日
東北地方整備局
道路部 交通対策課

中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス
道の駅「かみこあに」を拠点とした自動運転サービス
第1回地域実験協議会を開催します！

技術的な検証を行うための実験箇所(「地域指定型」)として選定された道の駅「かみこあに」を拠点とした自動運転サービス実証実験の実施に向け、第1回地域実験協議会を開催します。

国土交通省では、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため、道の駅など地域の拠点を核とする自動運転サービスの導入を目指し、今夏より順次実証実験を開始します。

今般、主に技術的検証を目的として、地域指定型として選定された秋田県上小阿仁村^{かみこあにむら}の道の駅「かみこあに」を拠点とした自動運転サービス実証実験の実施に向けて、実験実施計画の検討や実験実施に係る関係機関との調整等を進めるため、「地域実験協議会」を設置し、その第1回会合を開催します。

1. 設置趣旨

道の駅「かみこあに」を拠点とした自動運転サービス実証実験を円滑かつ効果的に実施するため、実験実施計画の検討、実験の実施及び実験結果の検証等を行うことを目的として、道の駅「かみこあに」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会を設置する。

2. 日時

平成29年 8月 2日(水) 11:00 ~ 12:00(予定)

3. 場所

秋田市 秋田拠点センター「アルヴェ」 4F 洋室C会議室

4. 議事

- (1) 実証実験の概要及び実験車両の説明
- (2) 今後の実証実験の進め方 など

※会議は、報道機関に限り、(1)実証実験の概要及び実験車両の説明まで(カメラ撮りは冒頭のみ)公開とします。

※道の駅「かみこあに」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会HP

<http://www.thr.mlit.go.jp/road/koutsu/Michi-no-Eki/jidou-unten/index.html>

※本実験は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)のプロジェクトの1つとして実施するものです。

記者発表先：東北電力記者会、東北専門記者会、宮城県政記者会、秋田県政記者会
能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

国土交通省 東北地方整備局道路部 交通対策課 課長 赤坂 浩
TEL:022-225-2171 (内線:4511)
能代河川国道事務所 道路副所長 木村 恭一
TEL:0185-70-1001 (内線:205)

道の駅「かみこあに」を拠点とした自動運転サービス
地域実験協議会 委員等名簿（案）

委員	所属
桑原 雅夫	東北大学 工学部 教授
浜岡 秀勝	秋田大学 理工学部 教授
石川 浩司	秋田県 建設部 参事（兼）道路課長
佐藤 秀治	秋田県 北秋田地域振興局 建設部長
小林 悦次	上小阿仁村 村長
湊 信	秋田県 警察本部 交通企画課長
須藤 春彦	秋田県 北秋田警察署長
鈴木 和美	道の駅「かみこあに」 駅長
田中 安規	小沢田集落会長
齊藤 登	福館集落会長
雄谷 誠祐	ヤマハモーターパワープロダクツ（株） ゴルフカー事業推進部長
坂 憲浩	東北地方整備局 能代河川国道事務所長
赤坂 浩	東北地方整備局 道路部 交通対策課長
保刈 芳信	東北運輸局 自動車技術安全部 技術課長
岩淵 正宏	東北運輸局 秋田運輸支局 総務企画部門 首席運輸企画専門官（総務企画）
井坪 慎二	国土技術政策総合研究所 道路交通研究部高度道路交通システム研究室 主任研究官

「道の駅」かみこあに 秋田県上小阿仁村

＜道の駅概要＞

設置者：上小阿仁村
路線名：一般国道285号
整備手法：一体型
供用：平成8年12月



～道の駅「かみこあに」～

秋田県上小阿仁村は、秋田県内で最も人口(H27国調2,381人)が少なく、高齢化率の高い自治体である。

道の駅「かみこあに」は、高齢化している村民の憩いの場を提供し、交流人口の拡大に向けた特産品を活用したイベント等の開催で、地域活性化に取り組んでいる。

地域の特産品を活用した物産センター



上小阿仁村 特産品

「食用ほおずき」



「こはぜ (ブルーベリー科)」



手作りコンフィチュール



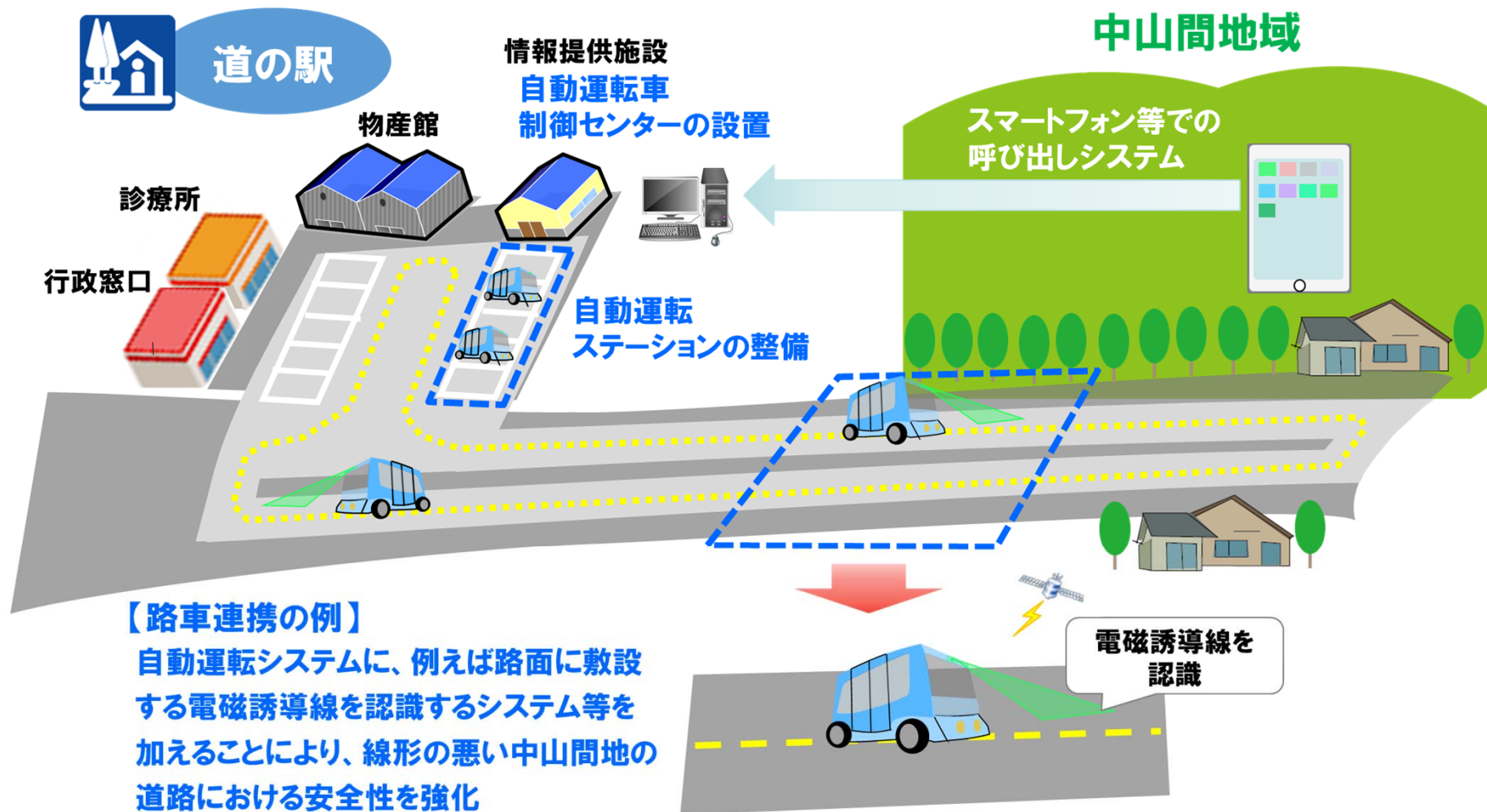
山野草



山野草展(4回/年)は約4千人を集客



● 超高齢化等が進行する中山間地域において、人流・物流を確保するため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスを路車連携で社会実験・実装する。



物流の確保
(宅配便・農産物の集出荷等)

貨客混載

生活の足の確保
(買物・病院、公共サービス等)

地域の活性化
(観光・働く場の創造等)

今年夏頃から順次実験開始予定